
「骨盤臓器脱を合併した子宮悪性腫瘍手術時に

腔断端挙上術を併施した4症例の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日～2024年7月31日までに当科で骨盤臓器脱を合併する子宮悪性腫瘍手術の際に同時に腔断端挙上術を受けられた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

子宮悪性腫瘍の手術時に骨盤臓器脱に対する腔断端挙上術を加えることで術中術後成績に影響を及ぼさないかどうかを明らかにすることです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年10月3日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテに記載された情報を調べ、研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科において、研究責任者である鮫島 浩輝が個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当科で骨盤臓器脱を合併する子宮悪性腫瘍手術の際に同時に腔断端挙上術を受けられた患者さん患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

研究責任者：産婦人科 助教 鮫島 浩輝

研究実施者：産婦人科 教授 長井 智則

研究実施者：総合周産期母子医療センター母体胎児部門 非常勤医師 宇佐美 拓哉

研究実施者：総合周産期母子医療センター母体胎児部門 助教 武井 かほり

研究実施者：産婦人科 助教 板谷 雪子

研究実施者：産婦人科 教授 高井 泰

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 医局

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681 (土日祝日を除く 9 時 ~ 17 時)

○研究課題名：骨盤臓器脱を合併した子宮悪性腫瘍手術時に腔断端挙上術を併施した 4 症例の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 鮫島 浩輝